

三星鹿屋

県立鹿屋高等学校PTA広報誌



第68号

発行日 平成26年12月24日
発行行 県立鹿屋高等学校PTA
発行責任者 上谷田浩幸PTA会長
編集責任者 黒松かおり広報部長
題字 川路舞衣(2年)

- 1・2・3面:大隅地区高等学校PTAブロック別研修会
- 4面:部活動紹介(野球部・水泳部・ダンス部・演劇部)
- 5面:三星祭「体育祭」及び「文化祭」
- 6面:修学旅行(2学年)報告
- 7面:学校行事・PTA活動等
- 8面:特別企画 学校探検シリーズ2「図書館におじゃまします」

平成26年度

「大隅地区ブロック別研修会」

17年ぶりに担当校として開催

平成26年9月27日(土)に、リナシティかのやにて、平成26年度大隅地区ブロック別研修会が開催されました。

本校が担当校ということもあり、PTAが新体制となつてから、会を成功させるため、執行部・学校が一丸となつて準備に取り組んできました。当初は、出遅れた感がありましたが、担当者を中心に協議・準備を重ね当日を迎えることとなりました。

研修会当日は、各専門部や一年生の保護者にもお手伝いをいただき、それぞれ受付や案内・誘導・接待・会場設営・駐車場などの業務に携わっていただきました。おかげさまで、当日はスムーズな運営ができました。ありがとうございます。

さて、ブロック別研修会当日ですが、県PTA連合会と大隅区域高等学校PTA連絡協議会の主催のもと、鹿屋高校吹奏楽部による素晴らしいアトラクションに始まり、二見いすず先生による記念講演、そして、垂水高等学校と財部高等学校のPTAによる事例発表と盛りだくさんの内容でした。

来場者も多く、大隅地区の高校から、総勢340名の参加者をお迎えしました。最後に次回開催校である志布志高等学校のPTA会長の御挨拶をいただきました。無事に会を終えることができました。

この会を迎えるにあたり、学校・保護者がまさに一致団結して取り組んで参りましたが、皆様方の御協力をいただき、会を成功裏に終えることができました。紙面ではありますが、この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。



1 テーマ

「未来をたくましく育てる子どもを育てるためのPTA活動をめざして」
「自ら考え、判断し、行動する力を養うために」

2 趣旨

これからの社会において、一人一人が自分の生き方を自分の意思と責任で選ぶためには、自ら考え判断し、行動する力がより一層重要となつてきます。そこで、未来をたくましく生きる子どもを育てるために、「学校」「家庭」「地域」が、それぞれの役割を見つめ直し、連携していくためのPTA活動の意義を理解し、実践に生かしていただきたい。

3 日時 平成26年9月27日(土) 13:00～16:00

4 会場 リナシティかのや 3階ホール

5 参加人数 約340名

6 日程

(1) 受付

(2) アトラクション
鹿屋高校吹奏楽部

(3) 開会行事

① 開会のことば

② 鹿屋高等学校
PTA会長挨拶

③ 来賓祝辞
鹿屋市教育長

(4) 記念講演
講師 二見いすず

(5) 事例発表

① 垂水高等学校PTA

② 財部高等学校PTA

③ 質疑応答

④ 指導助言
大隅教育事務所
主任指導主事

(6) 閉会行事

① 次回開催校挨拶
志布志高等学校
PTA会長

② 閉会のことば

PTA会長

PTA会長

PTA会長

PTA会長

PTA会長

PTA会長

PTA会長

PTA会長





MBCアナウンサー・大崎町教育委員

二見 いすずさん

プロフィール

南日本放送にアナウンサーとして入社後、現在はフリーでラジオ番組「王曜の朝は」などを担当。その他に、司会・ナレーション・アナウンス教室講師や純心女子短期大学の非常勤講師を務める。

「親身に聴く」とはなんだ」

講演内容

母校である志布志高校の茶道部での指導をしながら、高校生との触れ合いを大切にしています。その志布志高校生時代に、担任の先生がよく話をされていた言葉が「結果は大事、でもそれに向かって努力するそのプロセス(過程)はもっと大切である。」でした。もし仮にそのときに結果が出なくても次につながる。自分の蓄え・財産になるのだと思っています。

褒めてもらえると頑張ろうという気持ちになります。「褒める」という前向きな言葉を持つ力やお互いの気持ちを通じたと思う瞬間を大切にしたい。一人で両親の介護をした経験があり、その時いつも自分の悩みを聴いてくださる方がいました。その方は、ただ聴いてくれるだけでアドバイスや「そんなことだめよ。」ともおっしゃらない。ただ「そうだったの。たいへんだったね。」というだけの方でした。最後に「何かあったらいつでもいいから連絡してね。夜でもいいから。15分で来れるからね。」

「親身」とは「親の身」になってという意味。親が子どものことを思って真剣に聴いてあげること。これが「親身」ということ。自分が一番大切な人だと思っ

て接することだと思っています。

現在担当しているラジオ番組の中で、70歳くらいの男性からのエッセイを紹介するコーナーがあり、自分の学費を賄うために母がお気に入りの紫の和服を手放したであろうという話を、涙ながらに綴った手記や、100歳になる入院中の母に「夕方また来るわね。」と言って自宅に帰った娘が、いろいろとしなければならぬ雑事で、今日はもう(母の所へ行くのはいいか。と見舞いに行かなかった。そして翌日見舞いに行ったら母親に「あなたね、いい加減な約束はしないんだよ。」と一喝されたという話。これも母が娘のことを思っ

て、言葉を信じて待っていたのです。もしこれが他人だったらどうでしょう。今、各家庭で親が子を思う気持ちが伝わっているでしょうか。私も高校2年生の頃でしたが、とにかく親と話をしたくない、声もかけて欲しくない、今風で言えば「ウザい。」ってことだったのでしょうか。この親との微妙な距離感というのは、誰でも経験あることで、その時の声のかけ方一つで変わってくるものなのです。その際、「あなたのことをいつも気にかけているよ。」という合図を、子どもに発信し続けることが大切なのだと思います。「親の意見と冷酒は、後で効く。」という父親の言葉を今でも思い出します。「大丈夫なの。」



「大丈夫だよ。」「あ、そう。」という会話はどの家庭でも聞かれますが、「大丈夫だよ。」と答える際の、目線や声の調子はどうか、表情はどうだったか。体の向きは?というところまで観察すると、「いや、この子は本当は大丈夫ではないんじゃないか。」ということが親としてわからないといけません。観察力・忍耐・集中力が必要なのです。

以上が、二見さんの話の概要ですが、言いたいことがたくさんあるとき、全で一気に言うのではなく、その際、思いつき深呼吸しその後思いつき吐き出すと、少し冷静になって落ち着いて話ができる。というようなアナウンサー出身ならではの「呼吸法」の話もされました。この高校生という微妙な時期の親子関係のあり方に、貴重なアドバイスが多くもらえたのではないのでしょうか。

事例発表 垂水高校PTA

昨年度のテーマ「PTA携帯プロジェクト」会話でつなぐコミュニケーション」を掲げ、生徒の携帯電話等の利用状況の実態を把握し、情報化社会を生きる子どもたちにネットや携帯を単に規制するのではなく、利用能力を育みながら健全な成長を促すよう、より良い環境づくりを努めてきました。そこで、今年度のテーマを「PTA携帯プロジェクト」学校と家庭でのルールづくり」に設定し、各家庭での取り組み調査を実施しました。スマホの所持率は74%から82%に増え、スマホがないと不安な状況



垂水高校



財部高校

親子の会話が9ポイント増!!

も、1年生の方が他学年より高いという結果が出ました。そこで本校でも「アフター10運動」を実施し、PTA講演会やPTA総会で呼びかけを行いました。この運動の認識度は44%から77%に伸び、家庭内でのルールづくりも昨年比5ポイントの伸びとなりました。具体的には「知らない人からの電話やメールには応じないことやフィルタリング機能の有効活用、勝手に個人情報や写真を載せない、それでもトラブルが起きたらすぐ相談する」等の取り組みを実践しているとの報告がなされました。その結果、親子の会話が昨年比9ポイント増えたとのことです。PTA会長のユーモア溢れる報告に会場の雰囲気も和みました。

事例発表 財部高校PTA

今年度の活動目標

「生徒一人一人が輝ける学校」

1. PTA総会への参加率を上げるために、PTA総会を日曜日に開催することにし、同時に授業参観を導入した結果、この3年間で出席率が13ポイントアップ。日曜開催と授業参観という組合せが功を奏しました。更なる改善を進めていきます。

2. 朝の校門挨拶運動
会員の協力により、輪番で担当。保護者

PTA総会を日曜日開催に

が生徒の学校生活を直接見る機会をつくっています。

3. 全会員への外部研修参加要請
九州PTA大会・6校ミニバレー大会・大隅地区高校ブロック別研修会・曾於肝属地区PTA交流会・県P委嘱公開・曾於市P連の集いなどへの出席を要請しました。

2年後に閉校を迎えることになりましたが、生徒たちに財部高校生としての自覚と誇りを持つる学校にするために、保護者として出来ることをこれからも実践していきたい。

裏方で大会を支えました

鹿屋高校PTA (敬称略)

【実行委員長】

上谷田PTA会長

【総務】

PTA副会長 市来・船迫・岩元・上原・桑原・川崎

【会場設営】

杉松・塩屋・内村・上松・下田平・増田・的場・有村・川島・原・鶴田

【駐車場】

新田・江藤・今村・川野・久富木・徳留・東・貴島・荒平・松元・井上・瀬戸口・永岩・有馬・西山・竹下・山本・中津

【受付】

黒松・柿内・上船・今原・宮ヶ迫・有馬・大町田・川野・竹下

【案内】

木戸・久保園・田場・恒吉・前田・八品・吉迫

【接待】

市坪・羽田・市来・猪野・上園・濱田・荻田・野田

【記録】

学年委員長 郷原

【PC】

学年委員長 池ノ上

以上、事前準備はもちろん、当日の朝早くからお集まりいただき、午後からの大会に向けて準備をさせていただきました。お陰さまで大会は無事終了できました。ご協力に感謝致します。



部活青春だあー

本校は31の部活と4つの同好会があり、仲間と身体と精神を鍛え、技を磨いています。日々の課題にも懸命に取り組む部活動生たち。今回は4つの部活を取り上げてみました。さあ、どんな青春を送っているのでしょうか。

野球部



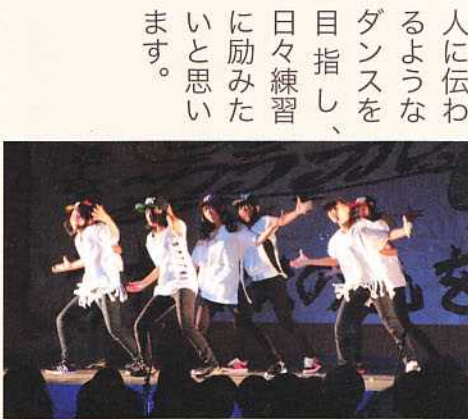
主将 大竹野拓実
 僕たち野球部は、2年生25名の計48名で、松元先生、外部コーチの新地コーチのもと日々練習に励んでいます。今夏に行われた、3年生の先輩方にとって最後となった「全国高等学校野球選手権鹿児島大会」では、見事8年ぶりにベスト4に入ることができました。地域の方々や先生方、保護者の方々、そして生徒の皆さんの応援のおかげと心から感謝いたします。現在僕たちは、先輩方の残した成績を追い越すことができるよう頑張っています。今のままでは難しいですが、来年の夏に今年と同じような、もしくはそれ以上の成績を残すことを目標に、頑張っていきたいです。

水泳部



主将 佐藤 正基
 私たち水泳部は、2年生9名、1年生8名の計17名で活動しています。今年行われた県総体では、女子リレー3位、個人種目でも九州大会出場と良い成績を残すことができ、全九州大会出場を成し遂げました。その大会でも個人種目で2位入賞、それも大会新記録という成績を残すことができました。今はシーズンオフ中で十分な練習はできませんが、来年の大会でも好成绩を残せるよう、日々練習に励んでいきたいと思っています。応援よろしくお願いします。

ダンス部



部長 柳田 紋菜
 私たちダンス部は、2年生3名、1年生13名、計16名の部員で構成されており、宮城先生と諏訪下先生の御指導の下活動しています。主な練習内容は、ストリートダンス・創作ダンスと大きく2つに分けられます。現在はダンス発表会に向けて創作ダンスに取り組んでいます。ある一つのテーマに沿って、見ている人がわかるように曲や動きを見せ方などを工夫して表現しないと、高評価につながらないので大変難しいです。部員のほとんどが初心者なので、部員全員が意見を出し合い、ダンス一つ一つに思いを込めて、見ている人に伝えるようなダンスを目指し、日々練習に励みます。

演劇部



部長 木場 智美
 現在、2年生6名、1年生4名、計10名で毎日楽しく活動しています。演劇は他の主な部活動と異なり、成績や記録を競い合うだけでなく、観客にいかにも楽しんでもらうかが最も重要になります。観客や部員との協調性がなければ成立しない演劇というものを通して、私たちは自分のことだけでなく周囲の人のことも考えなければならぬことを日々学んでいます。そのような演劇部で過ごせることは将来にもつながるのではないかと思います。まだまだ部員募集中です。ぜひ見学に来てください。



2014.9.6 体育祭



裏方で「三星祭」を盛り上げました！

警備担当(敬称略)

2年生保護者: 下中野・嶋児・江藤・内和田・有村 / 3年生保護者: 垣内・新田・赤星
生徒たちが安全かつ安心して体育祭を楽しめるように、本校グラウンド周辺の警備を担当しました。天気は雨模様の予想を裏切って快晴となり、むしろ熱中症の心配をしないといけないう程でした。また、3年(赤組)が2年(青組)に、わずか2点差で逃げ切り、優勝を勝ち取ったことも印象に残った体育祭でした。



2014.9.19-20 文化祭

裏方で「三星祭」を盛り上げました！

バザー担当(敬称略)

1年生保護者: 羽田・宮川・川崎(執行部), 上谷田会長 / 2年生保護者: 市坪・有馬・猪野・中塩屋 / 3年生保護者: ニノ方・福留
調理パン等(ロンドン・びーたーぱん), おにぎり(はまよし), ジュース類を販売させていただきました。耐震工事により家庭科室が使えず、例年バザーの定番メニューであるカレーライス・うどんが提供できませんでしたので、その分生徒たちの胃袋を満たしてくれたのではないのでしょうか。

警備担当(敬称略)

1年生保護者: 下田 / 2年生保護者: 嶋児・内和田・有村 / 3年生保護者: 郷原・垣内・新田・小川

耐震工事により、第3棟が使えない状況の中での開催でしたが、体育館および第2棟周辺の警備を担当しました。他校の同級生など外部からの出入りが多数見受けられましたが、大きなトラブルもなく無事終了できてほっとしました。



非日常体験満喫!!「2学年修学旅行」報告

1日目(11/18火)	学校発～鹿児島中央駅—(新幹線臨時便)—新大阪駅—嵐山・渡月橋散策
2日目(11/19水)	京都市内グループ別研修(終日)
3日目(11/20木)	奈良公園(東大寺など)～ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)～ナイト・クルーズ (客船ルミナスIIにて夕食および港周辺の夜景を鑑賞)
4日目(11/21金)	神戸大学総合研究拠点訪問(大学紹介および講義等)～新神戸駅—(新幹線臨時便)— 鹿児島中央駅—学校着



生の金閣寺の迫力に驚いた。(Tくん)



京都自主研修で、伏見稲荷、清水寺、三十三間堂という所に行った！初めて京都に行って、京都の町並みに感動をうけました。食べ物もすごく美味しくて良い経験ができた。(Sさん)



人生初のディナークルーズだったけど、船が大きくて、食事もバイキングだったし、夜景がとてもきれいで感動した！そんな中でみんなに誕生日を祝ってもらって本当にうれしかった。(うれしくて涙してしまったKくん&Mさん)



ウイザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター



いろいろなアトラクションがあった。生まれて良かった！(Nさん)



USJ、修学旅行の中で1番楽しかった!! 次行くときは1日中USJで遊びたい!(Yさん)



敬礼!



神戸大学での講義





「センター試験」出願式 (だるまの目書き入れ式)

9月26日(金)7限目に、毎年恒例の「センター試験出願式(たるまの目書き入れ式)」が体育館で開催されました。文系3組の今釜健士郎くんと理系7組の有村あおいさんが67期生を代表してセンター試験および2次試験に向けて一致団結していくことを決意表明したあと、1組から8組まで各学級の代表者2名および担任・副担任で、だるまに目を書き入れました。

3年3組 今釜 健士郎

センター試験まで、残り113日となりました。この試験は少しの点数の違いが、志望校を決定する上で、さらにはその後の進路を決定する上で、我々にとって極めて大きな影響力を持ちます。生半可な覚悟では、決して受けることができません。それぞれの進路目標は違いますが、ほぼ全ての者にとって共通の目的は、まずセンター試験の突破です。よく「受験は団体戦」と言われますが、1人1人の振る舞いは集団のモチベーションに大きく影響します。クラスであつたり学年であつたりと。

残り限られた日数の中で、出来ることは限られます。今日の出願式を、67期生一同が再決起し、共に高め合っていくためのきっかけとしましょう。

3年7組 有村 あおい

体育祭や文化祭などの三星祭も終わり、センター試験まで残り113日となりました。私自身も受験を前にして、不安や焦りを感じます。でも今焦ってもいいことはないと思うので、1日1日を大切に過ごそうにしています。休日に学校に来て勉強しながら嫌になつてしまひそうなき、3年7組のクラスメイトが頑張っている姿を見ると、私も頑張ろうという気持ちになります。目指す道は違つても一緒に受験を戦う仲間として、クラスの雰囲気は大切になつてくると思います。

10月に入ると、模試や検査もたくさんあり、大変な日々が続きます。でも「辛い時が頑張り時」という言葉にもあるように、今頑張ることで自分の希望や進路にも近づくことができると思います。体育祭や文化祭で見せた団結力を受験でも発揮させ、67期生全員で頑張りましょう。



ミニバレー大会

11月29日(土)に、曾於・肝属地区PTA交流会が、垂水中央公園体育館で開催されました。また、夜には懇親会も催されました。

本校からは厚生保健部員を中心に、執行部と学校職員が参加し、各高校と親睦を深めました。

夜は、各PTAによる自己紹介や抽選会が盛大に行われました。

11月30日(日)に、市P連主催の親睦スポーツ大会が開催されました。

本校からは、夏に行われたPTAミニバレーボール大会で優勝した、三年七組が出場し、二対戦行い、一勝一分という素晴らしい成績を収めました。

当日は校長先生とPTA会長も応援に駆けつけ、終始和やかな雰囲気のもと、大会を終えました。



学校探検 第2弾! 未知のスポットを探れ!!

前回の購買部編に続き、今回は図書館を探検しました。正門を入れて事務室がある校舎のすぐ裏に図書館があります。卒業生の方には「学生食堂」や「旧三星会館」と言った方が馴染みがあるかもしれません。

学生食堂があったこともあり、広々としたスペースに閲覧机や、個人で利用できる学習コーナーがあったりと、充実した環境でした。開館時間は月曜日から金曜日の8時20分～16時50分、貸し出しは原則1人2冊で期間は一週間です。

学校では8時20分～30分までの10分間を、「朝読書」の時間として、全校生徒みんなで読書する取り組みをしています。各クラスに30冊の「学級文庫」が設置されており、本に親しみやすい環境への工夫がなされています。「学級文庫」の原資には、古本バザーの益金等を充てているとのことでした。

映画の原作とともに映画情報も



配架の様子

閲覧スペース



本屋大賞 (企画)



読書の秋 (企画)



学習コーナー

中西先生オススメの本



ぜひ、読んでみてください!

新着図書



図書館の本は、現在の生徒や教職員をはじめ、未来の生徒のための大切な財産です。貸出期間を守って大切に扱うよう、保護者としても目配りをしたいものです。皆さんも学校におこしの際は、図書館を訪問されてみてはいかがでしょうか。

PTA広報誌第68号発行にあたりまして、ご寄稿いただきました方々をはじめ、取材を快くお引き受けくださいました方々に、この場を借りまして心から御礼申し上げます。誤字脱字や誤植等ないよう努めたつもりですが、間違い等ございましたらお知らせいただければ幸いです。

編集後記

- 担当職員 上床・牧之瀬・瀬戸
- 担当副会長 柿内(1-2)
- 広報部員
- 川畑(3-1)・阿多(3-2)
 - 西小野(3-5)・市森(3-7)
 - 岩重(3-8)・鹿屋(2-1)
 - 中嶋(2-2)・後藤(2-6)
 - 岩元(2-6)・下伊倉(2-7)
 - 柿内(1-2)・上船(1-4)
 - 黒松(1-5)・川野(1-7)